



三月十一日、豊丘村食生活改善推進員(会長・三石節子さん、会員十九名)の協力をいただき、昼食弁当「おあがりてランチ」を

りてランチ」の事業を実施しました。この事業は村内に住む八十歳以上の独居高齢者に無料で昼食を配食するもので、

「おあがりてランチ」を
お届けしました

四十八名の方から希望がありました。会員の皆さんには季節感と栄養面や味付けを工夫した献立を考えていただき、調理をお願いしました。出来上がったお弁当は、食改民生委員、役場包括、社協スタッフで手分けをして配達しました。今回初めての試みでしたが、多くの方に喜んでいただけました。

食の楽しみや大切さを感じていただけたらと、次回も季節を感じるお弁当をお届けします。



絵手紙付きのお弁当

感想が寄せられています...

- 見た目も春一色、独り暮らしの私にとって元気が湧きました。
- 普段、味が濃いのが分かった。気をつけたいと思う。
- 一人では粗食になってしまいがちですが参考になりたいと思います。

福祉タクシー対象者

- 満73歳に達した方
- 身体障害者手帳1・2・3級の交付を受けた方
- 療育手用の交付を受けた方
- 満65歳に達した独居老人で非課税者

「福祉タクシー」の該当者は
社協へ申請を

年齢が満七十三歳になられる方は、誕生日が到達する一ヶ月前から福祉タクシー証の申請が可能です。申請ご希望の方は豊丘村社会福祉協議会にて手続きしてください。すでに七十三歳に達している未申請の方も常時受け付けております。

「申請方法」

申請は社協へ
社協備え付けの「申請書」に顔写真(横3cm×縦4cm)を添えて申請してください。

利用範囲が拡大されました

七百元で利用できる範囲が二十八年度から拡大されました。詳しくは、村の広報五月号をご覧ください。

平成28年度事業計画及び予算が3月24日開催の理事会・評議員会で承認されました。概要を掲載します。

平成28年度 豊丘村社会福祉協議会 事業計画

理 念

人々の健やかで自立した生活へ向けての支援

方 針

高齢者も障がい者も安心して暮らせる豊丘村づくり

1 活動の基本方針

豊丘村においても少子高齢化現象が進行しており、65歳以上の人口は2,000人を超え、高齢化率も約30%となっています。

これら高齢者や心身に障がいのある方、生活困窮者などの社会的な弱者も、尊厳を持って健やかに暮らせる社会づくりが重要な課題です。

豊丘村社会福祉協議会は、地域福祉の担い手として、福祉サービス利用者の皆様に満足してもらえるサービスを提供し、安心して暮らせる社会づくりを目指します。

2 重点目標

- (1) 介護サービスの充実
- (2) 介護予防対策の充実
- (3) 高齢者・障がい者等の生活支援・生きがい対策の充実
- (4) 結婚相談事業の充実
- (5) ボランティアの育成と活動推進
- (6) 社会的弱者の支援
- (7) 福祉事業の普及啓発

3 活動計画

- (1) 介護サービスの充実
 - ・介護サービス計画の作成(ケアマネージャー)
 - ・訪問介護(ホームヘルパー)
 - ・通所介護(日曜・年末年始び社協所定の休業日を除く毎日)(デイサービス)
 - ・介護者ふれあい相談の実施(村・地域包括支援センターと共催)
 - ・ケアマネージャーによる介護相談実施
 - ・介護保険相談窓口の常設(「地域包括支援センター」と連携)
 - ・介護者リフレッシュ事業の実施(食事会、バスハイク等)
 - ・おむつ代補助

(2) 介護予防対策の充実

- ・「介護予防事業はつらつクラブ」の充実
- ・ミニデイサービス(地域主催)への協力支援
- ・ふれあい交流(「おいでなんしょ会」「高齢者昼食会」等への補助)
- ・高齢者スポーツ大会の開催(ゲートボール大会等)

(3) 高齢者・障がい者等の生活支援・生きがい対策の充実

- ・ヘルパーによる生活支援・安否確認等(村との連携)
- ・配食サービスの実施・ヤクルトサービスへの連携協力
- ・福祉タクシー事業の運用
- ・「車いす対応軽四輪車」の貸出
- ・「希望の旅」事業の実施と支援
- ・「高齢者クラブ」等の活動への協力及び助成
- ・障がい者スポーツ大会への協力支援
- ・障がい者総合支援法によるホームヘルプ

(4) 結婚相談事業の充実

- ・村内の結婚希望者に関する情報収集
- ・「愛ねつと北部」の登録情報を活用したカップリング支援
- ・近隣市町村との情報交換、交流(「天竜縁結びの会」等)を実施
- ・イベント、交流等を「愛ねつと北部」と連携し開催
- ・村及び農業委員会、民生児童委員会等と連携

(5) ボランティア育成と活動の推進

- ・ボランティアニーズの把握、個人・団体の組織化、情報発信
- ・ボランティアの活動援助(ボランティア保険、謝金等の補助)
- ・「各地区ボランティアの会」の世話役
- ・ボランティア研修の充実
- ・ボランティア精神の育成(小中学校への福祉教育活動助成等)
- ・個人ボランティアの育成と啓発
- ・災害時のボランティアセンターの運用訓練

(6) 社会的弱者の支援

- ・生活福祉資金の取り組み(県・国)
- ・小口資金(くらしの資金・医療貸付金)(豊丘村独自)の取り組み
- ・基幹的社協(飯田市社会福祉協議会)と連携した支援事業の実施
- ・くらしの相談の実施(民生児童委員・行政相談員連携事業)

毎月26日(原則) 場所 「はつらつ」

- ・生活困窮者の自立支援

(7) 福祉事業の普及啓発

- ・社協報、情報誌等の発行
- ・福祉啓発イベントの開催(福祉関係功労表彰・講演会・介護・高齢者疑似体験等)
- ・福祉のニーズ調査・検討
- ・赤い羽根共同募金の推進(10月から 募金目標額170万円)

平成28年度 豊丘村社会福祉協議会予算

総 額 207,779千円

サービス区分別 収入支出予算内訳

(単位：千円)

【収入内訳】		会 費	村補助金	受託金	共同募金配分金	介護保険収入	事業収入	利用料収入	その他	積立金取崩収入	収入合計
		2,220	60,822	4,694	1,494	122,470	2,261	0	4,972	8,846	207,779
【支出内訳】											区分別支出計
法人運営事業	法人運営事務費	1,570	17,000						100		18,670
	地域支援		10,850				647				11,497
	結婚相談		937				32				969
	くらしの相談	50	105								155
	ボランティア	100	6,900								7,000
	福祉のまちづくり	500	16,950				60		100		17,610
	介護予防拠点施設管理		8,080				807				8,887
	共同募金配分金				1,494						1,494
	北部地区結婚相談所			4,694							4,694
法人運営計		2,220	60,822	4,694	1,494	0	1,546	0	200	0	70,976
介護事業	居宅介護支援					21,131					21,131
	訪問介護					29,842					29,842
	通所介護					63,776			4,772	8,846	77,394
	総合支援					7,721					7,721
	自立支援						715				715
介護事業計		0	0	0	0	122,470	715	0	4,772	8,846	136,803
支出合計		2,220	60,822	4,694	1,494	122,470	2,261	0	4,972	8,846	207,779

くらしの相談日程(前期)

4月26日(火)
5月26日(木)
6月27日(月)
7月26日(火)
8月26日(金)
9月26日(月)
会場「林里：はつらつ」
時間 午後7時から9時

主な年間事業予定日

5月22日(日)	介護者リフレッシュ	11月13日(日)	福祉まつり
6月4日(土)	飯伊障がい者スポーツ大会	11月20日(日)	介護者リフレッシュ
7月4～5日	身体障がい者希望の旅	2月中旬	社協ゲートボール大会
7月中旬	一人暮らし高齢者希望の旅	2月26日(日)	介護者リフレッシュ
8月7日(日)	災害ボランティア立上訓練	3月初旬	健康と福祉のつどい
8月28日(日)	介護者リフレッシュ	随時	理事会・評議員会
10月下旬	重度身体障がい者希望の旅	年4回	社協報発行

四月から介護予防・日常生活支援総合事業開始

平成二十八年四月から、介護予防・日常生活支援総合事業がはじまりました。社協でも、この事業に取り組んでいます。

「はつらつクラブ」が 始まりました

日常生活支援総合事業として、今までの「はつらつデイサービス」を改め四月から「はつらつクラブ」として林里の介護予防拠点施設はつらつで事業を開始しました。

事業開始の日となった四月一日は、転倒予防体操を主とした半日コース(毎週金曜日開催)を十四名の方がご利用され、理学療法士の指導で個々の体力測定の後に一時間程の体操で体をほぐしました。

はつらつクラブの予定は金曜日のほか、月曜日から木曜日は



転倒予防体操

利用に当たっては、役場健康福祉課へ事業利用の申請が必要となりますので、ご不明な点は役場又は社協へお訪ねください。

健康と 福祉のつどい

二十八回目となる健康と福祉のつどいが、八十名参加で三月六日に保健センターで開かれました。

村の担当から、健康推進員制度と、介護予防・日常生活支援総合事業の紹介のあと、「看取りの文化研究所」の二本はま子さんにより「人生の最終章を自分らしく生きるために」と題した講演がありました。講演では、誰でも迎える死を元気なうちから考えることをテーマとして、次の世代に伝える大切さ、人生最終章の私の願い、終末期延命医療のあり方など、携わった経験や体験を交えてお話しいただきました。



柿外土ミニデイ

今回は、柿外土ミニデイを紹介させていただきます。

柿外土は、毎月第二火曜日の午後に開催をしています。旧道から細い坂をぐつと上りきったところに会所があります。この坂がなかなかきついのですが、皆さん頑張つて登つてきてくれます。

この日集まったのは、女性十名。まず始まりは体操です。体をほぐすストレッチとタオルを使った体操を行いました。次は、フラワーアレンジ。カーネーションをメインに、カスミソウや緑の葉などをバランスよく器にさしていきました。さてさて、出来栄は？

花は人の心を明るくしますね。皆さんのお顔にも表れています。(写真)

「フラワーアレンジがやりたーい」という柿外土の皆さんの要望をもとに企画をさせていただきました。二十七年のミニデイを締めくくる楽しい企画になったと思います。

柿外土のミニデイの日はな

ミニデイだより

ぜか!? 天気が悪いことが多いのですが、この日は快晴! 晴れやか! 華やか!! 楽しいミニデイとなりました。

(宮下)



共同募金実績のお知らせ

平成27年度の村内で集まった共同募金額は次のとおりです。ご協力ありがとうございました。

戸別募金	1,470,751円
法人募金	298,100円
職域募金等	51,626円
合計	1,820,477円

高齢者昼食交流会実施要綱 が改正されました

平成28年度より豊丘村の「高齢者昼食交流会実施要綱」が次のとおり改正されました。

主な改正内容

- 事業の対象者を75歳以上の高齢者に加え、「運営を支援する者」を追加
- 運営実費の支援額を一人当たり1,000円以内に変更
- 講師などの人材派遣費用を次に定める

費用区分	1回あたりの限度額
健康運動士	10,800円
理学療法士等	
柔道整復師	7,000円
レクリエーションインストラクター	
音楽療法士	
演芸関係者	

- 事業対象者の最低人員を7人とする
- 事業対象者と運営を支援する者の名簿を添付
- ※詳しくは社協でご確認ください。

ほほえみでは二月二十三日(火)動物とふれあえる「ハローアニマル」を開催しました。

この企画は、ご利用者が犬や猫などの小動物に直接触ったり抱いたり体験ができるよう、小諸市にある「県動物

ハローアニマル

デイサービス
ほほえみ
から



愛護センター」に依頼し、動物を連れて来訪いただいたものです。

利用者さんは、膝の上にワンちゃん、ネコちゃん、ウサギちゃんらを抱っこしたり、撫でたりして笑顔の絶えない時間を過ごすことができました。

去る、二月十一日・十二日、高齢者クラブ連合会では、「近江&若狭湾周遊の旅」へ四十名の参加で行ってきました。

一日目は、キリンビール滋賀工場を見学。残念ながら工場はあいにく年に一度の点検日で稼働していませんでしたが、それもまた珍しい光景で点検の様子を見学しました。その後のビールの試飲は大盛り上がり。

お次は比叡山。根本中道にてお坊さんから笑いあいの楽しい説教も頂戴しました。

二日目は白髪神社を参拝し、梅丈岳展望台にて三方五湖を

高齢者クラブ親睦旅行

眺め、締めくくりは福井県の日本海さかな街でお土産を購入、帰路へとつきました。



比叡山【延暦寺】にて

ボランティアセンター 事務所が移転しました

ゆめあるての北側にありました「ボランティアセンター」は、平成28年4月から、林里の介護予防拠点施設「はつらつ」内に移転しました。

よろしくお願い致します。



上竹はる奈

- ◎異動
はつらつクラブ
吉川 文子 (ほほえみ)
- ◎再雇用(四月一日付)
介護支援専門員
平澤あけ美
- ◎新任(四月一日付)
通所介護「ほほえみ」
上竹はる奈
- ◎退職
唐澤 晴子(二月三十一日付)
平澤あけ美(三月三十一日付)
小椋真知子(同日付)

職員異動



優勝:林里チームの皆さん

結果
優勝 林里
準優勝 伴野
三位 北村

社協主催 ゲートボール大会

二月二十三日スポーツ館
「参加者四十五名」

ボランティアセンターだより

No.17

豊丘村ボランティアセンター

豊丘村神稲12462

開館時間：平日午前9時～午後5時

休 館：土・日・祭日

TEL/FAX 35-3327

E-mail : vcenter-toyooka@mis.janis.or.jp

「飯伊ボランティア交流研究集会」開催

2月7日にさんとぴあ飯田にて「飯伊ボランティア交流研究集会」が盛大に行われました。豊丘村からは30名近い方々が参加され、飯伊のボランティア団体の皆さんの活動発表や、特産物市場の開催で、参加者同士、活発に交流を深める事ができました。



「傾聴基礎講座」

2月25日に長野市在住のフリージャーナリスト・内山二郎先生を講師にお招きし、傾聴基礎講座を開催しました。「聞く」「訊く」「聴く」の違いや「うなづき」「あいづち」「リフレイン」のタイミングの難しさを学びました。是非、継続して「傾聴」について学ぶ機会がほしいとの参加者さんからの声が多く聞かれました。



ボランティアの会総会 役員が変わりました

3月25日ボランティアグループとして活動している「豊丘村ボランティアの会」(会員96名)の総会がゆめあるてで開催されました。壬生万里子会長の挨拶で始まり、来賓の社会福祉協議会の片桐明会長からデイサービスセンターでの「毎日のお茶入れボランティア・シート交換」等の活動に対してお礼の言葉がありました。事業承認の後「役員の改選」で新三役が決まり、総会終了後は、健康運動指導士の牧内隆雄さんによる「健康づくり・体力アップ運動」で汗を流しました。

新役員(任期2年) 会長：原豊子さん 副会長：竹村和子さん
会計：大原千賀子さん



左から竹村さん 原さん 大原さん

掲 示 板

平成28年度「ボランティア活動保険」

ボランティアさんの活動中の事故によるケガや損害賠償責任を補償します。(来年3月までの1年間)

豊丘村ボランティアセンターではボランティア登録をしてくださった方に、社協が掛け金(基本タイプA・掛け金300円)を全額負担いたします。

「ボランティア行事用保険」(任意)

ボランティアさんが地域福祉活動やボランティア活動の一環として行う各種行事(サロン・昼食交流会など)を対象とする任意の「行事用保険」の取り扱いもございます。

お問い合わせは…

豊丘村ボランティアセンター 35-3327
住所：豊丘村神稲12462 (はつらつ内)